

会議顛末書(要旨)

								記録者		北澤 哲也		
供覧	会長		部長		課長		補佐	G	L		G	員
件名		令和3年度 第1回龍ヶ崎市地域公共交通協議会										
年月日		令和3年6月24日(木)										
時間		午前10時00分から午前11時40分										
場所		大昭ホール龍ヶ崎(文化会館) 小ホール										
出席者		牧瀬委員, 中村委員(代理: 富山氏), 直井委員, 川上委員, 池田委員(代理: 中村氏), 宮島委員(代理: 鈴木氏, 吉田氏), 武藤委員(代理: 羽富氏), 中島委員, 野澤委員, 小菅委員(代理: 海老原氏), 板谷委員, 渡部委員, 披田委員, 吉野委員, 大竹委員, 宮本委員 事務局 都市計画課 落合課長, 平沢補佐, 蛭原副主幹, 記録者										
内容 (主な意見)		※ 別添資料に基づき本協議会を開催した。 【事務局】 1 開会 ○「龍ヶ崎市附属機関の会議の公開に関する条例」に基づき, 当協議会 は市HP等にて公開する旨説明。(傍聴者無し) ○会議資料等の確認。 ○人事異動等に伴う委員変更による下記3名の紹介。 龍ヶ崎警察署交通課長 直井委員 茨城県龍ヶ崎工事事務所 生田目委員 本市都市整備部長 宮本委員 ○事務局4名の紹介。 ○定数の過半数出席により, 本会議が成立した旨を報告。(龍ヶ崎 市地域公共交通協議会条例第6条第2項) 板谷会長が議長となり, 進行をお願いいたします。 【板谷会長】 会議次第に従い議事の進行をまいります。積極的なご発言ご意見 よろしくお願いいたします。										

はじめに、本日の議事録署名人の指名をさせていただきます。

本日議事録署名人には、市民公募の披田委員様と平成観光自動車株式会社の中島委員様にお願いしたいと思います。署名人の方には、会議録がまとまり次第、確認の上、ご署名をお願いいたします。

○署名人2名了承。

それでは、議事へ進めます。議事（1）『乗合タクシー補助事業について』でございます。事務局から説明をお願いします。

【事務局】

○資料に基づき説明

【板谷会長】

説明ありがとうございました。ただいまの説明につきまして質問ご意見等があれば、挙手のうえご発言ください。

【披田委員】

当市のコロナワクチン接種で移動手段がない方に無償で提供が開始されているので、これまで乗合タクシーを利用されなかった方への周知のチャンス。周知も大切かと思います。

【事務局】

担当課へ伝え、検討したいと思います。

【川上委員】

目標設定が乗合率となっていますが、あまり他市町村では見かけません。乗合率を採用した経緯を伺えればと思います。

【事務局】

当初、網形成計画では利用者数を目標値として設定していましたが、当初の目標値を現状でも上回っています。事業者様からも利用者数の増加を目指していくのは負担が大きく対応が厳しいとのご意見があり、一昨年 of 会議にて新たに乗合率を目標として設定したところで

す。
昨年度は新型コロナの影響もあり、乗合を呼び掛けていくというのも難しいところもありましたが、引き続き乗合率が向上していけば運行の効率も上がっていくというところでもありますので、引き続き目標と設定させていただければと思います。

【川上委員】

乗合率を上げる方策はどのような方法・施策があるとお考えですか。

【事務局】

現在は、予約を行っている運行事業者様に効率的な運行となるよう
をお願いをしているところです。

昨年度、運行事業者を1社増やし、現在は2社で運行しているた
め、前年度よりは若干数値としては落ちてくる見込みもあるかと思っ
ております。

【板谷会長】

タクシー事業者様も通常のタクシーの引き受け方と若干違う部分も
あるので、意識して乗合できるようにということも考慮して設定した
というように理解しておりました。

数値としてなかなか上がっていかないところもあるかもしれませ
ん。今回、この協議会の場でいろいろ議論させていただきましたが、
今回はこのままの目標でよいかと思いますが、よろしいでしょうか。

他にご質問がないようであれば、議事（1）につきましては、資料
のとおり承認としてよろしいでしょうか。

～異議なしの声～

【板谷会長】

異議なしとのことですので、議事（1）につきまして、資料のと
おり承認といたします。

続きまして、議事（2）『龍ヶ崎市地域公共交通網形成計画の事業
評価について』事務局から説明よろしくお願ひします。

【事務局】

○資料に基づき説明

【板谷会長】

ただいまの説明につきましてご質問等があれば、挙手のうえご発言
ください。

【板谷会長】

利用者数に関しては、昨年度はやむを得ないだろうと思っておりま
す。コロナの影響により、各社の利用者数の低下と運行回数自体も減
らしているような状況の中で、利用していただいているという評価で
よろしいかと思ひます。

高齢者向け定期券、通学定期券も価格・実際に購入していただい
ている件数を見てもかなり評価して良い内容であると思ひております。

11ページ（4-1）の交通結節点の位置付け及びダイヤ再編によ
る接続強化ですが、デジタルサイネージ等について、龍ヶ崎市駅（旧
佐貫駅）には諸事情で設置が出来ませんでした。デジタルサイネー
ジに必ずしもする必要はないものの、バス路線図又は鉄道を含めた路
線図・乗り場等の案内については、若干、初めて来た人には分からな

いと感じることもあります。可能であれば少し積極的な施策の実施を検討いただいてもいいのかと感じております。

竜ヶ崎駅のデジタルサイネージ等はきわめて便利で、利用する方が常におり、分かりやすく便利と感じております。今後も継続していただけたらと思っております。

【川上委員】

10ページの目標達成状況ですが、「⑧地域公共交通利用」の「来訪者数のイベント開催日における地域公共交通利用の来訪者数」とは、どのように集計していますか。

【事務局】

龍ヶ崎市地域公共交通網形成計画の83ページの目標値算出方法のとおり、八坂神社祇園祭に竜ヶ崎線でお越しになった方の累計を集計することとしていますので、関東鉄道様に依頼して八坂神社祇園祭開催期間中の竜ヶ崎線の乗車人数を集計しております。

【披田委員】

数値目標としては年度ということですが、令和2年度はコロナの影響で下がっていて評価しにくいとは思いますが、月次とまではいかないまでも、もう少し状況変化を教えてください。

【事務局】

手元にある資料での説明となりますが、コミュニティバスの利用者数の推移では、昨年度の4月、緊急事態宣言発令されたのが4月7日から5月25日、この時期の1月の利用者数が1万人を割っており、かなり打撃を受けていた時期となります。その後、若干回復の兆しを見せ、昨年8月頃のいわゆる第2波、11月頃には第3波となったと思いますが、こちらは例年に比べてそれほどは減少しておりませんでした。

翌年1月8日から3月7日までの緊急事態宣言が発令された時期は、人数は1万1千人から1万5千人。若干利用者数の減少が見られるという状況です。年間を通すと、緊急事態宣言で4、5月が減少し、その後若干回復したが、再度の緊急事態宣言により1月から若干利用者が減少しました。緊急事態宣言等により、移動そのものを自粛された方が多かったのかと考えております。

【披田委員】

関東鉄道竜ヶ崎線ではどうでしたでしょうか。

【事務局】

では、概要だけでも関東鉄道様からよろしいでしょうか。

【宮島委員代理：吉田氏】

竜ヶ崎線は厳しいという言葉しかないくらい危機的な状況になっております。昨年コロナの時期（3、4月）は通学定期券なども学校の休校措置等で、数十万円しか売り上げがなかったような大変厳しい状態でした。

昨年度2020年度の実績は、緊急事態宣言後は持ち直していますが、それでも2019年度と比べると30%減で、未だにお客様は戻らない状態となっております。

【武藤委員代理：羽富氏】

バスの概要ですが、昨年4、5月の第1回目の緊急事態宣言が発令された後は、利用者がかなり落ち込み、通常の4割程度まで落ち込んでおりました。しかしながら6月以降は、回復傾向となり、昨年の6月から今月の数値としては8割程度まで回復しております。

【板谷会長】

戻りが十分ではないものの少しずつ戻りが見られたというご説明をいただきました。

【川上委員】

回復という言葉がありましたが80%で同じレベルで来ているので、さらに上に行くということはほとんど想定されません。テレワークの推進と世間では言われていますので、通学はあるにしても、通勤のほうは元には戻らないのではというのが、私どもの認識でございます。

【板谷会長】

コロナ前の水準には、鉄道・バス共に龍ヶ崎市に限った話ではなく、戻らないだろうと我々も、多くの事業者様も同じように思っているとされます。

この状況が続くと収入減という形になりますので、長期的には路線の見直し等にも入っていかねばならないかと想像・想定をしているところです。厳しいデータが出てくる時には、次のことを考えていかなければならないだろうと認識しております。

現状のサービスレベルを維持しようとする、事業者様はかなり負担が増すと思っております。サービスレベルの見直しあるいは、支出額の見直し、場合によっては路線バスの運行形態等についても長期的には検討していかねばならないだろうと思っております。

他にご質問がないようであれば、議事（2）につきましては、資料のとおり承認としてよろしいでしょうか。

～異議なしの声～

【板谷会長】

異議なしとのことですので、議事（2）については、資料のとおり

り承認といたします。

続きまして、議事（３）『（仮称）龍ヶ崎市地域公共交通計画の策定について』と議事（４）『龍ヶ崎市地域公共交通網形成計画の計画期間延長及び目標値の設定について』は関連性がありますので、一括して事務局から説明をお願いします。

【事務局】

○資料に基づき説明

【披田委員】

議事（３）で次期公共交通計画を作るということでしたが、変更点のポイントは何なのか教えていただきたいと思います。

【事務局】

自治体から見て一番大きな変更点は、策定が努力義務となったことかと思いますが、当市は既に網形成計画を策定済ですので、大きな影響はないかと思います。それ以外は、従来に加え、バス、タクシー等の既存の公共サービスを最大限活用したうえで、その他の地域のさまざまな資源の活用についても位置付けることができるということになっております。

【披田委員】

地域福祉輸送は今までは入ってなくて今回入れられれば入れられるということでしょうか。龍ヶ崎の場合は具体的にはあるのでしょうか。

【事務局】

福祉輸送に関しましては、以前からNPO様にも会議に参加いただいておまして、状況のご報告等はいただいていたところでございます。次期交通計画で位置づけを行うかについては、あくまで設定出来るということですので、調査結果を踏まえまして、令和４年度の計画策定の場で話し合いをさせていただきたいと考えております。

【板谷会長】

計画は、１回作成したらそれで終わりというわけにはいかないもので、基本的には年限を決めてその段階で改訂版を出すわけですが、今回、名称が変更されて努力義務化されたということで、今までの形を継続するケースが多いと思います。

延長に関しては、今までの計画に大きな問題があるということであれば、延長せず策定し直すということもあるかと思いますが、前の議事でもありましたように、どちらかというとな順調に遂行してきているということですので、若干の延長をしたうえで上位計画との整合をとり、新たな計画を作り直すということ。その際、アンケートを行い住民の皆様の満足度あるいはニーズ等についてしっかり把握した上で

作成するというところで、大きな問題はないかと思っております。

他にご質問がないようであれば、議事（３）及び（４）につきまして、資料のとおり承認とさせていただきますようお願いいたします。

～異議なしの声～

【板谷会長】

ありがとうございます。では 議事（３）及び（４）につきまして資料のとおり承認させていただきます。

続きまして、議事（５）『コミュニティバスの今後の方針について』事務局から説明をお願いします。

【事務局】

○資料に基づき説明

【板谷会長】

ただいまの説明についてご質問等があれば、挙手のうえご発言ください。

【吉野委員】

今後は使い勝手が悪くなる方向で検討されているのでしょうか。他の近隣地方自治体や東京都や京都市等と比較すると本市より安い料金のところも多いと思います。なぜ本市は１００円から２００円に値上げされたのでしょうか。

【板谷会長】

大規模な自治体ですと財政の規模が違いますので、一概にそちらの方が交通に関わる施策が手厚いかというと、そうとも言い切れない場合があります。特に京都市の場合、それを行っているために、今財政的に非常に厳しい状況です。

また高齢者に対する割引については、少子高齢化の進行に伴いこれまであまり問題にならなかったものが問題になることも多く、維持できているところもあれば、値上げをしてご理解をいただくという判断をしている自治体が少なからずあるというのが実態であります。

本市が取り立てて負担額が大きいというわけではなく、適正価格に近いというように思っております。

一方でその価格を（主な利用者である）高齢者の皆様にご負担いただくことの是非については、また別の議論になろうかと思っております。

東京都の様なシルバーパスのやり方は一般の自治体では、財政規模の観点から難しいと思っております。

【事務局】

再編前は、一般の方の乗車料金は１００円でした。再編に伴い便

数、路線数、さらに車両を新規に購入する等さまざま経費もかかるということや、利用者の方に一定程度の負担をお願いするということ、200円という料金設定としたところです。

一方、単純に200円に料金を設定するというのではなく、主な利用者でありました高齢者の方につきましては、「おたっしゃパス」の対象年齢を70歳から65歳に引き下げ、また障がい者の方の利用料金に関しては、従来の50円の料金の据え置き運用を続ける等、主な利用者の方や弱者と言われる方に配慮したうえで料金設定をしたところです。

【披田委員】

約20年前に都市交通マスタープランを策定した際にコミュニティバスについて100円か200円かということ策定の審議会でも議論し、結果的には100円としました。当時も今もそうですけれど、その100円でやっているところは比較的多いです。

自家用自動車で走った場合でもガソリン代等、一定のコストはかかっている、公共交通の料金をどの位にしていくのかということ、改めて考えていく必要があると思います。

料金均一化は難しいですが、現実に合わせて便数なり路線なり再編成するのはマイナスの経費削減のためのネガティブな再編ではなく、現実に合わせてこれからも維持していくためにはどうしていくか。ですので、経費削減に向けた取り組みという言い方をすべきではないかと思えます。

【板谷会長】

経費削減を先に目的として出すのはあまり好ましくないと思っております。サービスレベルが極力下がらないように工夫をして見直しをしていくという趣旨だと思っております。経費削減については、表現がストレートかと感じております。

価格設定についてはいろいろ経緯があって値上げしたところもあったわけですが、今回議論するという形ではなく、次回計画の中に入れていくような話なのかと思っております。計画の策定の際にどのような費用の負担をしていただくのか、ということについても議論を深めることで市内の路線バスあるいは鉄道等についての費用の支払い方法あるいは負担の仕方等について議論の上でこうすべきと計画の中で示していくのが本筋かと感じております。

【事務局】

委員の皆様からいただいたご意見を今後参考にさせていただきながら、新しい公共交通計画の策定を来年度めざしております。その前に今年度は各種、市民アンケート、公共交通事業者へのアンケート等でいろいろな意見を集め、先ほどご指摘いただきました「経費削減」を前に出すばかりでなく、利用者の利便性・効率化からコミュニティバスの維持というところを研究しながら皆様からのご意見をいただき進

めていきたいと思えます。

【板谷会長】

他と比べた時に本市の計画、あるいは公共交通のサービスレベルというのは、どちらかというと優れている方と客観的には思われます。そうした優れたところを活かしていけるようにしていければと考えております。大都市と比べてしまうと、見劣りするのはやむを得ないところもありますが、同じような人口の地方都市と比べた時にサービスレベルに関しては、乗合タクシーも含めますとかなり高い方であるとと考えております。

より高くしながら、財政支出を抑えていくというかなり難しい課題ですが、次期計画の中で上手くそれを実現させていくように我々としても尽力していきたいと考えております。

【中島委員】

経費削減も当然あってしかるべきと思っておりますが、非常にいいものが出来たのにも関わらず、ほとんど乗客がいない路線もあります。いろいろ諸事情があると思っておりますが、乗らないので無くしてしまったり、統廃合を行ってしまうと全く意味が無くなってしまいうような気がします。

【板谷会長】

利用の極めて少ない便や路線があるのは承知しております。単純に止めてそれで終わりにするという話ではないと事務局では思っているでしょうし、私もそう思っております。何らかの事情でニーズに合わないルートがあったり、別の原因があったりと、その辺は分かりませんが、きちんと調査をしたうえであるべきネットワークを達成していくのが責務かと思っております。

他にご質問がないようであれば、これまでの議論を踏まえた形でコミュニティバスの方針については進めていただき、文言については修正していただく必要があるかと思えます。内容については改めて今のご意見を踏まえて誤解の無いよう、単純なサービスレベルの低下を含めたものではなく、ニーズの実態に合わせた形で修正をしていくということで、そのような表現になるように少し修正いただき、そのうえで具体的な内容について記載していただければと思えます。そういう条件の下で議事（５）について承認いただくということによろしいでしょうか。

～異議なしの声～

【会長（板谷委員）】

議事（５）は資料のとおり承認とさせていただきます。議事（６）『関東鉄道竜ヶ崎線生活交通改善事業計画の変更について』事務局から説明をお願いします。

【事務局】

関東鉄道竜ヶ崎線に関する今後5年間の整備計画になりますので、関東鉄道(株)より説明をお願いいたします。

【宮島委員代理（鈴木氏）】

○資料に基づき説明

【板谷会長】

ただいまの説明についてご質問等があれば、挙手のうえご発言ください。

【牧瀬委員】

この鉄道の関係は茨城県運輸支局でやっておりませんが、こちらは関東運輸局へ補助申請をした計画の変更になるのでしょうか。

【宮島委員代理（鈴木氏）】

老朽設備の更新ということで弊社で設備の管理をしております、経年劣化してきたもの、安全運行に影響があるものを選定して整備計画を立てているものでございます。

【牧瀬委員】

国の補助とは別に、独自に改修を行うということでしょうか。

【宮島委員代理（鈴木氏）】

計画の変更部分については、国の補助はいただかない予定です。

【板谷会長】

議事（6）につきまして資料のとおり承認してよろしいでしょうか。

～異議なしの声～

【板谷会長】

ありがとうございます。では議事（6）については、資料のとおり承認といたします。

本日の議事案件は以上です。意見多々いただきましたので、こちらの意見を踏まえながら、事業を進めていきたいと思っております。引き続きご協力をお願いいたします。

その他の龍ヶ崎 MaaS 推進協議会について事務局から説明をお願いします。

【事務局】

龍ヶ崎 MaaS 推進協議会については関東鉄道(株)が事務局となっております事業ですので、関東鉄道(株)より説明をお願いいたします。

【宮島委員代理（吉田氏）】

○資料に基づき説明

【板谷会長】

ただいまの説明についてご質問等があれば、挙手のうえご発言ください。

【中村委員代理（富山氏）】

他のエリアでもこういった MaaS のアプリは作られていると思います。独自のものを新たに開発するといったところの理由、メリットは。

【宮島委員代理（吉田氏）】

本来であれば全国同じものを入れて統一で、というのが最終目標だと思いますが、まずは実験段階ということで、龍ヶ崎市内で使える独自のものを入れます。

市内利用を促進するという意味でも市内専用のアプリという形でいけたらと思っております。

【板谷会長】

実際、具体的にどのような形でやっていくかについては、部会を作って詳細に検討しながらやっていくものと承知しております。

ほかいかがでしょうか。

他にないようであれば、これですべて終了になりました。事務局から何かありますか。

【事務局】

慎重審議ありがとうございました。それぞれの議事の中で十分にお答えできない数値等があり申し訳ございませんでした。各公共交通事業者の利用者数等につきましてのデータは今後数値がまとまり次第、参考資料という形で各委員様宛に送付させていただきます。

議事（５）のコミュニティバスの今後の方針について、表現に指摘がございましたので、こちらの内容につきましては、文言を修正させていただきます。再度配布させていただきます。

議事（１）の乗合タクシーの補助事業について質問いただいたワクチン接種者への移動手段につきましては、新型コロナワクチン対策課にて市内のタクシー協会様と協定を結び、借上げ方式でワクチン会場まで足を運ばない方のための移動支援を行っております。

今回、急ぎでの対応であったため、乗合タクシーを活用することが出来ませんでした。今後は時間的な余裕があるものについては庁内でも連携を図ってまいりたいと思っております。

昨年度、経済対策として国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して市内公共交通事業者への補助を行ってまいりましたが、今年度も今現在、第2回市議会定例会へ補正予算を上程しており、議決されれば、補助要綱を策定し、補助申請をしていただきながら補助出来る体制を整えていきたいと思っております。

【板谷会長】

以上で本日の会議を閉会とさせていただければと思います。長時間ご審議いただきましてありがとうございました。

令和3年 月 日 議事録署名人

令和3年 月 日 議事録署名人